

令和3年9月30日

郡市区等医師会 御中

大阪府医師会  
(公印省略)

「感染症発生動向調査情報（第38週）」の送付について

平素は、本会事業の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして、大阪府感染症情報センターより、週報データが届きましたのでご提供申し上げます。ご活用のほどお願い申し上げます。

コメントのピックアップ内容は府医ニュースにも掲載しており、大阪府感染症情報センターホームページには、詳細な感染症発生動向状況等が掲載されています。あわせてご活用くださいますようお願い申し上げます。

《 大阪府感染症情報センター ホームページ 》

<http://www.iph.pref.osaka.jp/>

**【問合せ先】**

大阪府医師会・地域医療1課(小山)  
TEL 06-6763-7012

# 大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2021年 第38週（9月20日～9月26日）

## 今週のコメント

～新しい生活様式の実践～ 手洗い、身体的距離の確保、密閉・密集・密接の回避が重要

### 定点把握感染症

「手足口病/ヘルパンギーナ 増加続く」

第38週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は894例であり、前週比1.4%減であった。第38週の報告の解釈については、連休による医療機関の診療実日数と受診者の減少を考慮する必要がある。

報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、手足口病、RSウイルス感染症、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・突発性発しんの順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ2.17、0.74、0.38、0.36、0.27である。

感染性胃腸炎は前週比3%減の430例で、南河内3.88、中河内3.55、北河内2.85、大阪市南部2.56、三島2.18であった。

手足口病は69%増の147例で、大阪市北部2.86、北河内2.15、大阪市東部0.80である。

RSウイルス感染症は31%減の75例で、大阪市北部1.57、北河内0.62、大阪市西部0.60であった。

ヘルパンギーナは29%増の72例で、大阪市北部1.00、堺市0.95、中河内0.90である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は24%減の54例で、中河内0.60、大阪市南部0.50、北河内0.46であった。

季節外れの夏型感染症の動向に注意が必要である。

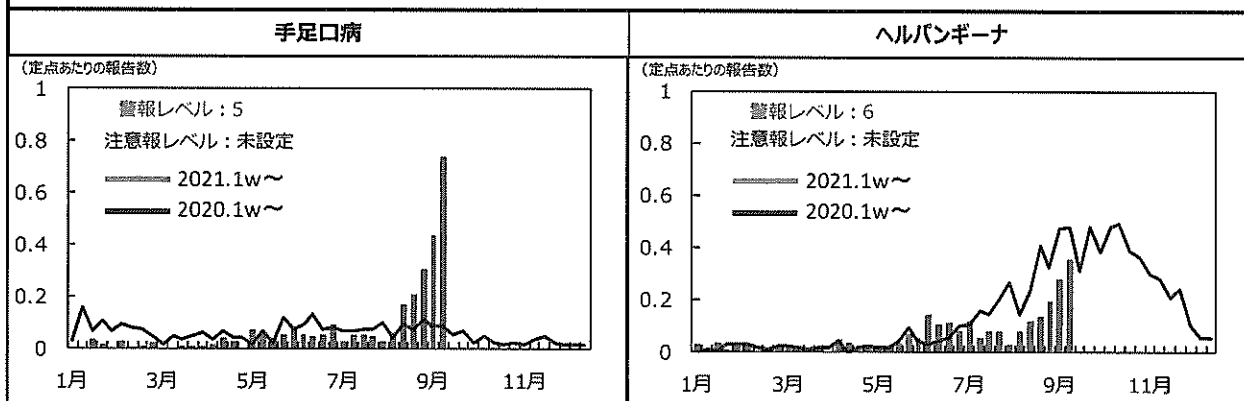


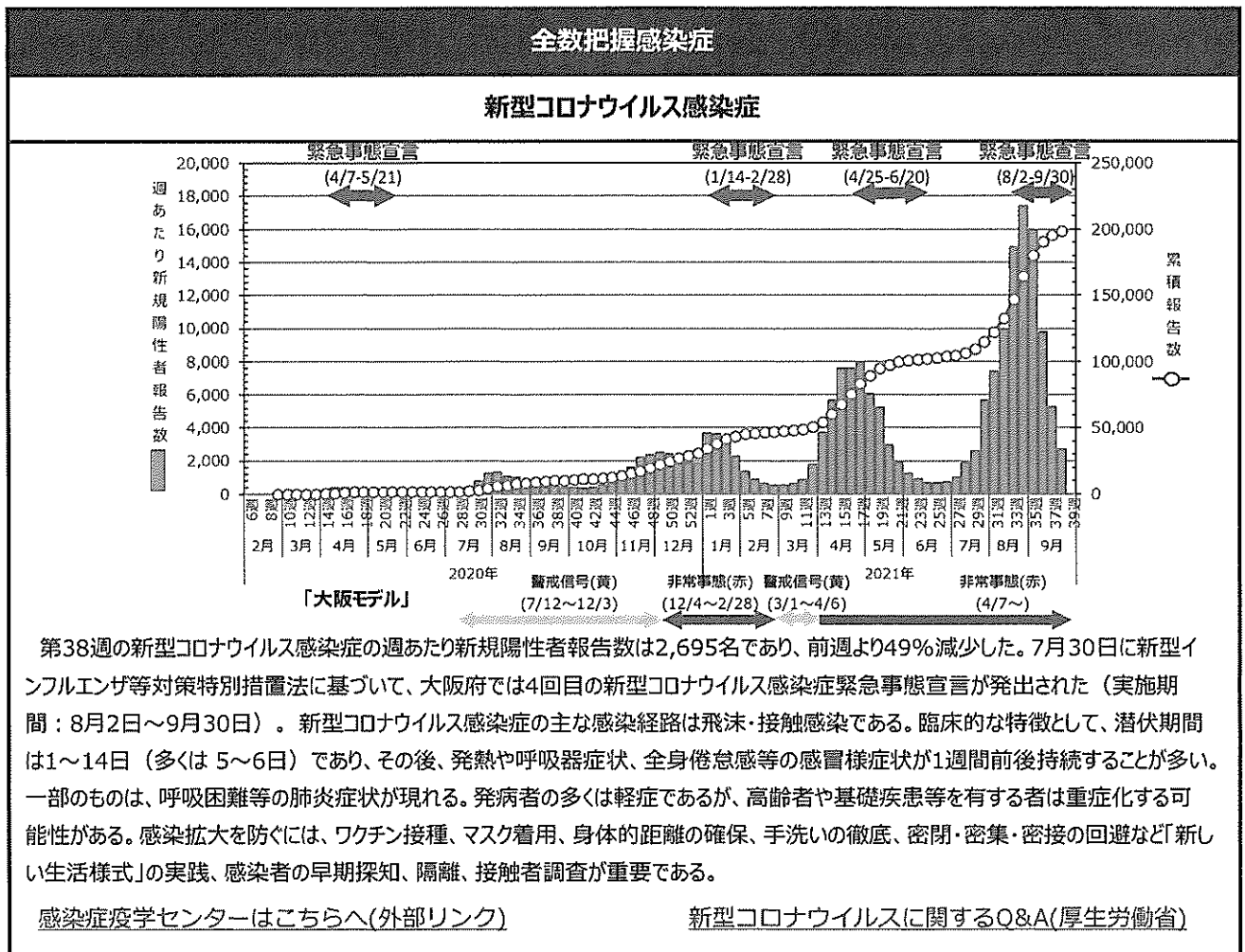
表 1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2021年 第38週9月20日～9月26日）

第38週の順位	第37週の順位	感染症	2021年第38週の定点あたり報告数	前週比増減	2020年第38週の定点あたり報告数	2021年第38週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	2.17	3%減	1.92	1歳_19%
2	3	手足口病	0.74	69%増	0.08	1歳_52%
3	2	RSウイルス感染症	0.38	31%減	0.01	1歳_29%
4	6	ヘルパンギーナ	0.36	29%増	0.46	1歳_35%
5	4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.27	24%減	0.58	2歳_19%
5	5	突発性発しん	0.27	22%減	0.43	1歳_59%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.00	増減なし	0.01	

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

## 第38週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防の徹底を（マスク着用、身体的距離の確保、手洗いの徹底、密閉・密集・密接の回避）



**表2. 大阪府全数報告数（2021年 第38週9月20日～9月26日）**

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります  
 （報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】発生動向調査＞全数報告 をご覧ください。）

	疾患名 ( )内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	府内市町村別							府内累積報告数
			豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2				1			1	134
4類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	2					1		1	97
5類感染症	アメーバ赤痢	2			1				1	34
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1							1	128
	後天性免疫不全症候群	1							1	70
	梅毒	6	2	1	1				2	558
新型コロナウイルス感染症等感染症	新型コロナウイルス感染症	2,695	2020年1月以降累計							198,469
結核 (2021年7月分)	結核 新登録患者数：101名								(内 肺・喀痰塗抹陽性 37名)	(府内累積報告数 665名、内 肺・喀痰塗抹陽性 240名)

(2021年9月28日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

詳細はリンク先の『11月1日まで』と『11月2日以降』をご覧ください。



前週比較・ブロック別・疾患別患者発生数

2021年9月28日

第38週 2021年9月20日～2021年9月26日

(ブロック別)

ブロック名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	大阪府計	大阪市計	堺市計	東大阪市計	高槻市計	豊中市計	枚方市計	合計	上位5疾患順位	
	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部										
定点数	小児科	23	17	26	20	16	19	20	14	10	15	85	57	19	12	8	9	8	198		
疾病名	眼	5	4	6	5	4	5	6	5	2	6	20	17	5	3	2	2	3	52		
	基幹	2	2	2	2	1	2	1	4			7	4	2	1	2	0	0	16		
	インフルエンザ	35	25	41	31	24	29	33	20	15	22	132	84	29	18	13	13	13	302		
小児科 定点 把握 疾患	RSウイルス感染症	▼ 1	△ 8	▽ 16	▽ 8	▽ 6	▼ 1	▽ 2	△ 22	△ 6	3	2	▽ 19	△ 33	▼ 1	▽ 5	△ 6	1	▽ 5	▼ 75	3
	咽頭結膜熱	▽ 0	▼ 0	▽ 3	△ 5	△ 3	▽ 2	▼ 0	1	△ 1	▲ 3	△ 6	▼ 5	△ 11	▽ 2	△ 4	0	▽ 0	1	▽ 24	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	▲ 7	△ 12	▽ 12	△ 6	▽ 1	▽ 1	▼ 2	1	▽ 1	△ 9	20	13	▽ 1	▽ 11	▲ 3	△ 1	3	▽ 54	5
	感染性胃腸炎	25	37	74	71	62	▽ 28	38	▽ 19	11	△ 19	46	171	95	▽ 28	△ 43	16	▼ 6	△ 29	430	1
	水痘	▽ 2	△ 2	▽ 1	1	▲ 2	▽ 3	▼ 0	▽ 1	▽ 1	△ 2	▼ 0	5	▽ 4	▽ 3	0	△ 1	0	▽ 0	▽ 15	
	手足口病	▽ 3	▽ 2	▲ 56	▲ 12	▲ 8	▽ 7	▲ 5	△ 40	1	△ 12	▽ 1	▲ 61	△ 54	▽ 7	▲ 10	▽ 2	▽ 2	△ 2	▲ 147	2
	伝染性紅斑	0	0	△ 1	▽ 0	0	0	0	0	0	0	▽ 0	△ 1	▽ 0	0	▽ 0	0	0	0	▽ 1	
	突発性発しん	▼ 4	△ 7	▽ 6	9	6	▽ 1	5	5	△ 3	△ 4	▽ 4	▽ 19	16	▽ 1	▽ 4	△ 3	0	▽ 3	▽ 54	5
	ヘルパンギーナ	△ 2	2	8	▲ 18	△ 3	▲ 18	▼ 0	▽ 14	▽ 4	△ 2	▽ 1	11	▽ 21	▲ 18	▲ 11	△ 1	0	▲ 2	▲ 72	4
	流行性耳下腺炎	△ 1	▼ 1	▽ 1	▽ 0	▽ 0	0	1	△ 7	1	0	▽ 0	▽ 3	▲ 8	0	▽ 0	▽ 1	0	▽ 0	12	
眼科 定点 疾患	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	△ 1	0	0	0	0	0	△ 1	0	0	0	0	0	0	△ 1		
	流行性角結膜炎	0	0	△ 4	▽ 0	0	0	1	△ 1	△ 1	0	△ 2	1	△ 4	0	▽ 0	0	0	△ 4	△ 9	
	合計	▼ 40	66	182	136	97	▽ 61	53	112	△ 30	△ 46	71	317	259	▽ 61	88	△ 33	▼ 10	49	894	
基幹 定点 把握 疾患	細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
イ定	インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

△▽・・・前週比20%以上増減 ▲▼・・・二週連続前週比20%以上増減

全国感染症集計 2021年37週(09月13日～09月19日)

1～4類 (全数把握)		報告数	5類感染症の一部 (全数把握)		報告数
エボラ出血熱		0	アメーバ赤痢		4
クリミア・コンゴ出血熱		0	ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)		2
痘そう		0	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		22
南米出血熱		0	急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く。)		0
ペスト		0	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)		4
マールブルグ病		0	クリプトスポリジウム症		0
ラッサ熱		0	クローイツフェルト・ヤコブ病		2
新型インフルエンザ (A/H1N1)		0	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		10
急性灰白髄炎		0	後天性免疫不全症候群		7
結核	218		ジアルジア症		0
ジフテリア		0	侵襲性インフルエンザ菌感染症		5
重症急性呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)		0	侵襲性髄膜炎菌感染症		0
中東呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)		0	侵襲性肺炎球菌感染症		12
鳥インフルエンザ (H5N1)		0	水痘 (患者が入院を要すると認められるものに限る。)		2
鳥インフルエンザ (H7N9)		0	先天性風しん症候群		0
コレラ		0	梅毒		109
細菌性赤痢		0	播種性クリプトコックス症		2
腸管出血性大腸菌感染症	92		破傷風		1
腸チフス		0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		0
パラチフス		0	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
E型肝炎		8	百日咳		15
ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。)		0	風しん		0
A型肝炎		0	麻しん		0
Eキノコックス症		0	薬剤耐性アシネトバクター感染症		0
黄熱		0			
オウム病		0			
オムスク出血熱		0			
回帰熱		0			
キャサナル森林病		0			
Q熱		0			
狂犬病		0			
コクシジオイデス症		0			
サル痘		0			
ジカウイルス感染症		0			
重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)		1			
腎症候性出血熱		0			
西部ウマ脳炎		0			
ダニ媒介脳炎		0			
炭疽		0			
チクングニア熱		0			
つつが虫病		0			
デング熱		0			
東部ウマ脳炎		0			
鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く。)		0			
ニパウイルス感染症		0			
日本紅斑熱	16				
日本脳炎		0			
ハンタウイルス肺症候群		0			
Bウイルス病		0			
鼻疽		0			
ブルセラ症		0			
ベネズエラウマ脳炎		0			
ヘンドラウイルス感染症		0			
発しんチフス		0			
ポツリヌス症		0			
マalaria		0			
野兔病		0			
ライム病		0			
リッサウイルス感染症		0			
リフトバレー熱		0			
類鼻疽		0			
レジオネラ症	49				
レプトスピラ症	1				
ロッキー山紅斑熱	0				

	報告数	定点当り
インフルエンザ	1	0.00
R Sウイルス感染症	3487	1.11
咽頭結膜熱	344	0.11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1347	0.43
感染性胃腸炎	7107	2.27
水痘	260	0.08
手足口病	2514	0.80
伝染性紅斑	26	0.01
突発性発しん	1181	0.38
ヘルパンギーナ	1651	0.53
流行性耳下腺炎	171	0.05
急性出血性結膜炎	1	0.00
流行性角結膜炎	154	0.23
細菌性髄膜炎	7	0.01
無菌性髄膜炎	9	0.02
マイコプラズマ肺炎	10	0.02
クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	2	0.00
定点数		
インフルエンザ	4893	
小児科	3135	
眼科	684	
基幹病院	477	

8月(月報)	報告数	定点当り
性器クラミジア感染症	2560	2.61
性器ヘルペスウイルス感染症	751	0.76
尖圭コンジローマ	494	0.50
淋菌感染症	888	0.90
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1238	2.60
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	80	0.17
薬剤耐性緑膿菌感染症	18	0.04
定点数		
STD	982	
基幹病院	477	

注意 記載データは速報性を重視していますので、今後の調査結果で若干変更が生じることがあります。